

開催記録

名 称	第4回会津美里町教育振興計画策定委員会
開催日時	令和7年12月25日(木) 午後6時30分から午後8時10分
開催場所	本庁舎 2階 大会議室
出席者	委員別紙名簿のとおり (No.6 委員欠席) 事務局 歌川教育長、猪俣こども教育課長、小林生涯学習課長、 上野主幹兼指導主事兼教育相談室長、國分こども教育課長補佐、 馬場生涯学習課長補佐兼公民館長兼図書館長、梶原郷土資料館長
議 題	第4期教育振興基本計画(案)について (1) 第4章 施策の体系と展開について (2) 第5章 計画の推進のために ・施策の指標について
資料の名称	教育振興基本計画(案)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
内容	
<p>1. 開会</p> <p>2. 委員長挨拶</p> <p>3. 協議(座長: 渡部委員長)</p> <p style="padding-left: 2em;">第4期教育振興基本計画(案)について</p> <p style="padding-left: 2em;">(1) 第4章 施策の体系と展開について</p> <p style="padding-left: 2em;">(2) 第5章 計画の推進のために</p> <p style="padding-left: 4em;">・施策の指標について</p> <p style="padding-left: 2em;">(3) その他</p> <p style="padding-left: 2em;">【説明者: 事務局(上野主幹兼指導主事兼教育相談室長・馬場生涯学習課長補佐兼公民館長兼図書館長・梶原郷土資料館長)】</p> <p style="padding-left: 2em;">(1)の説明の前に、前回協議した第2章、第3章の確認・修正が必要ではとの意見が委員よりあり、第2章、第3章について主に前回協議した内容が反映されていない点、文章の体裁等について再度確認・修正を行った。</p>	

(委員) 第4章 30 ページの3 地域文化の振興の、施策の長さが長いんですね。そういう表記が何かちょっと違和感を感じるのと、例えば(1)と(2)の②③が同じなんです。ですから施策もやっぱり検討が必要かなと。もう少し短くならないかなっていうことを同じ内容が入ってるっていうのは、基本施策が違うのにはいかなものかなと。検討が必要かなというふうに思いました。

(事務局) 再度検討させていただきます。

(事務局) では、「子ども教育の充実」に関わる部分、31 ページから 40 ページまでの部分、前回いろいろご提案いただいて、キーワードをもとにして文章化させていただいたところでございます。これについても表現も含めてあるいは読んで見てやはりこういった施策も必要なんではないかこんなキーワードも加えたらいいんじゃないか、あるいはこの辺りはもうちょっと簡潔にした方がいいんじゃないかなというようにも含めて、各専門のご見地からご意見いただければありがたいななというふうに思っております。

(委員) 質問いいですか。31 ページの①の一番下「また小・中の教員全体で子どもたちを多角的に見守り、児童生徒が学びに集中できる環境整備」とは具体的にどういうふうにするのかな。

(事務局) 子どもたち特に小中連携が進むことによって、中学校に入学した際には中 1 ギャップと言われるような、やはり精神的になかなか不安定なところが、小学校の先生前期の先生に関わっていただくようなことによって精神的な安定というような部分、それから先生方がたくさん関わっていただけるというようなところでは安心安全というような部分で授業などに集中して取り組める、心配事を軽減させて取り組むことができるのではないかなという趣旨での表現でございました。

(委員) 私はこの 2 行が必要ないだろうというふうに思ったのですが。

(事務局) 確かに今私もお話をさせていただきながら、安心安全についていうところになれば、ここの項目ではないのかなというふうに感じたところではございましたので、必要かどうか再度検討させていただければと思います。

(委員) 32 ページのイの 3 行目なんです、「振り返りの時間を位置づけます」ですが、今までも振り返る時間というのは位置づけてましたよね。これ今までなくて何か新しく位置づけるって理解されちゃうので、「時間を強力に推進します」とか。

(事務局) そうですね。強めるというかより明確にするというようなそういった表現に直したいと思います。ありがとうございます。

(委員) ③のア「道徳教育の推進」の最初、「特別の教科 道徳」はこれ鍵カッコ表現がいいでしょ

(事務局) そうですね。ありがとうございます。

(委員) あとその下の 2 行目の「実践力の育成を図ります」これも今までも図ってきてるので、これを例えば、「継続します」とか「強化します」とかってそういうしないと、今まで図ってなかったのかなんて解釈されると困るので、その辺の表記をお願いします。

(事務局) 承知しました。

(委員) 34 ページの①のイの「合理的配慮の推進」の2行目、「教育委員会と連携して」という表現はおかしいですね。教育委員会がやる施策なので。

(事務局) はい。削除いたします。

(委員長) 皆様いかがでしょうか？ 特にご専門のスポーツのところとか、小学校、中学校、幼児教育というのがありますがそのあたりで、何か気になるところとか。前回のことも踏まえて、ご意見等ございましたらお願いいたしたいと思います。

(委員) 一つ教えてもらっていいですか。38 ページの①のイの3行4行目にある「CS 制度」とは。

(事務局) コミュニティスクールですね。ただ、CS だけではわからないので、これもわかるような形で表記したいと思います。

(委員) 別に間違いないと思うんですけど、②「郷土学習の充実」で、「や」、「や」、って続くときに、どこかで句読点をつけるのではないかと思ったので。ここを何かできないかなと思いました。

(事務局) 読みやすく改善します。

(委員) どこを云々っていうんではないんですが、すごく僕はすっとうって来た部分もあるんですけど、その冒頭のところにも引っかかってくるんですが、第3期の課題がこちらとリンクしてるのかなっていうのがとてもこう、気になりながら読んでいたところではありました。以上です。

(事務局) ありがとうございます。まさに以前からもご指摘受けている通り反省とそれから今後の方向性の部分ときちんと整合性取れているかっていうところは、再度検証させていただければと思います。

(委員長) 幼児教育の部分は如何でしょうか。

(委員) 前回お話をさせていただいたところは反映されておりました。ありがとうございます。

(委員長) スポーツの方はご意見ありますか。

(委員) ちょっと元に戻ってしまっでごめんなさい。30 ページの前なんですけど、前回の資料の中で、「生涯スポーツレクリエーションの振興」のところで「引き続き地域スポーツクラブとの連携を図りながら」というところ正しい表記が衆であれば、この表記でいいのかっていう質問があったんですけど、この地域スポーツクラブというのは、こちらのこの後の方のページにも係ってくると思うんですけど、全体的な町の地域スポーツの例えばいろんなスポーツをやってるクラブとして認識してよろしいですか。総合型は総合型で別に出てきてるので、別な意味として捉えていいのかなと思ったんですけど、例えば地域でやってる体育協会のクラブだとかそれも全部地域のスポーツクラブになると思うので、それも全部ひっくるめて地域スポーツクラブとおっしゃってるんであればこれでいいんだと思うんですけども。前のところに戻ってしまっているんですけども。すみません。

(事務局) 今ほど委員のおっしゃられた通り、各地区地区の方でやってる地域のスポーツのいわゆるコミュニティ的な団体の方に大きく捉えていましたので、クラブ衆を考えた場合には「総合型」という記載となっています。

(教育長) 地域スポーツクラブというのは固有名詞でもあるような感じですけど、例えば「地域のスポーツクラブ」と言ったらまだわかると思いますね。

(事務局) 指しているところが少し曖昧になってしまうので、この部分見直しいたします。意味するところ明確にするような、地域スポーツの「地域のスポーツクラブ」、あと「総合型スポーツクラブ」の使い分けをはっきりとしたいと思います。

(委員長) ご意見等ございませんでしょうか？

(教育長) 私から言うのも何なんですけど、41.42 ページの生涯学習のところを見ていただくと、同じような表現が繰り返されるんですよ。それから具体的な施策名がほとんど出てきてなくて、固有名詞とかです。抽象的な表現に終始してるので本当に施策の段階になったときに、じゃあ何をやるんですかってときに何か紐づけられるものがあるのかどうかも含めてですね。ちょっと見直さないといけないんじゃないかって話はしております。同じような表現が繰り返されて、「少し違うんですけど中身は同じ」なのが結構ありますので、その辺はもう一度検討させたいなというふうに思っています。それからあともう少し具体的な取り組みとか、いわゆる生涯学習で使われている様々な決まり文句に書き換えられる部分も結構あるので、そういうものもきちんと書き換えた方がいいかなと思っています。例えばその41 ページの一番下から2行目の「さらに」とかね、「学習や調べ学習の支援」とか、これはもうもう決まり文句で図書館のレファレンスサービスに決まっているので、そういうふうな文言にきちんと置き換えて表現していくようにという指示はしております。直ってない所多くて申し訳ありません。

(委員) あと気になる表現が「目指します」という表現が、その生涯学習スポーツに出てくるんですよ。目指すって言うのかなと思うことと、地域文化の振興に行くと説明が何か必要条件を説明してるんですよ。こういうことが必要でこうなってこうなんだろうっていうその表現の一貫性がないので、そこら辺を統一した方がいいんじゃないかなというふうに思っております

(教育長) はいおっしゃる通りだと思います。一応確認していることはですね、基本施策の(1)からずっとあるわけですけど、施策を書いた次の①②③とありますが、①には当然具体的な施策に挙げたものが出てきますよね。そのア・イの取り組みの前に何行か①の説明があるんですけども、そこには具体的な施策において「こんなことを目指していきます」という総体を書いて、そのために「アでこんなことやりますイでこんなことやります」としてさらに具体的な取り組みを記載するというふうな確認をしています。そうやってないところのご指摘の通り多いので。

(委員) それを統一すればいいですね。

(教育長) はい。そんなふうにご理解いただきたい。

(委員) 例えばスポーツイベントの 46 ページのア・イのところなんですけど、「スポーツイベントの開催」の「町民参加し互いに交流できるスペーススポーツイベントを開催し」というのを、例えばこれは運動会などとか、そういうふうに具体的な名前を入れることはできないのか。

(教育長) おっしゃる通りそうして欲しいんです。私も指示しているのは、これでは何やるかわからないので、例えば「何々とか」そういう例示をした上で、この文書ならわかっていう話をしています。それがないので先ほど申し上げたように、具体的な取り組みや施策に何に結びついているのって紐付けられない。

(委員) 読んだ時の感想が全体にふんわりしていて。

(教育長) 要するに何やるかわからないですよ。何をやるかわかる表現にいたします。

(委員) あと余計なことは言葉も入ってますよね。参加者はいらないですよ。参加するの当たり前で全部そういう話はいらないことを選択した方がよほどはすっきりするんじゃないかなということで、その辺も含めて検討が必要かなと思う。

(教育長) この 45 ページから 46 ページにかけても同じような表現内容が繰り返されてるので、もう少し整理しないと何をやるかがおっしゃる通り見えない。

(委員) 地域の一体感や活力の醸成なんて同じことを何回か出てくるんすよ。

(委員) よろしいですか。例えば包括支援センターでやってる「100 歳体操」だとか、あるいは健康ふくし課でやってる「うんどう教室」というのは、これから 100 歳 100 年時代に向けて当然その生涯スポーツ、運動の部分があると思うんですけども、そういう表記とというのはここにはあるのかなのか、なくていいのかその辺がちょっと自分の中で腑に落ちない部分があって疑問なんですけどね。どっかに包括してあるのですかね。

(事務局) 健康ふくし課で行っている所ですので、効果的な部分にはちゃんとわかりません。教育委員会としての基本計画になってくるので他部署の部分までの表記というのは記載しておりません。

(委員) 他課やあるいは関係機関団体との連携だとかが必要なのかなと思ったりしたものですから、挙げさせて頂きました。

(教育長) そういう意味では踏み込みすぎてるところもいくつかあるんですけど、他課の領域に足を踏み込んでるのはやっぱカットしながらですね、精製していく必要があるかなと思います。

(委員長) それでは最後のところの「地域文化の振興」ですが、確認いただきませうかがいましょう。

(教育長) 御指摘ありましたけれども、施策が長すぎるので余計な文言を削る必要があるかなっていうふうに思ってます。例えば、施策(1)の①「総合的な学習の時間を活用した文化財等の見学学習や体験学習の実施」とかありますけど、これは例えば、「文化財等の見学や体験学習の充実」とかそれくらいにすべきだなって思ってます。

(委員) これは教育委員会が令和 8 年から 5 年間でやる施策ですから、実際実施するのは

学校や園だなので、そこら辺も考慮しながら検討していただかないと、余計な文言を入れると本当に先生方の負担が過重になるので、そこら辺も含めてご検討をお願いできればと思う。

(教育長) おっしゃる通りですね。再度見直します。

(委員) 「ホンモノ」が漢字のところもあって、カタカナにしたかった何かがあるんだろうなっていうのは思いました。

(委員) 我々専門家からすると意図していることは非常によくわかりますよ。

(委員) 一ついいですか。ちょっと分からない所があって 50 ページの②のイのところ、「歴史愛好団体」はいいんですが「郷土史家」っていう概念なんですけれども、どういう人かよくわからない。ちょっと疑問なんで論文では「郷土史家」という言葉を使ったこともあるので、それはわかるんですけども、ある別の専門家からその論文解析に郷土史家って何ですかって聞いたことがあるんですよ。ちょっと少し普通に郷土史自体がちょっと曖昧なんで。あと 52 ページのところの②のところ「人材育成」を出していただいたので非常に良かったなというふうに思います。いっぱい文章書いてるっていうふうにおっしゃってそういう事もあるんですけども、逆にあの第 3 期の基本計画のペラペラの中身のないものに比べれば遥かにわかりやすいし、読んでるとこれどうするんだろうっていうイメージが湧いてくるので、そこはいいんじゃないかなと思いましたね。ただ郷土資料館を活用してって言うのですけども、その郷土資料館に歴史資料の展示がないんですよ。活用してって言ったって歴史資料がないんだからどうして歴史を教えるのって話になっちゃうって、そこまで具体的に話を進めるので実はこの書きぶりは非常にいいんじゃないかな。計画ですから綺麗にもちが書ければいいわけですよ。ただ、本来は中身をどうするかって話になってくるので、そこを先にイメージが広がるので、今回は非常によく書けてるとは思っていました。

(教育長) これまでよりはかなり踏み込んで書かれたとは思いますが、おっしゃる通り本当に施策に結び付かないと恥ずかしい話なんで、そこはちゃんと裏を考えながらやっていく必要があるかなと思います。

(事務局) 歴史愛好団体や郷土史家っていうふうに並立させましたけども、個人的にいろんなことを研究されたり探究されてる方って多くて、そういう団体に属さないという。ただそういう方で深く追求してる方もいらっしゃるんで、そういう人とも連携が郷土資料館としては必要なかなっていう意味合いを込めて「郷土史家」という言葉を使いました。

(委員) そういう方々が書いたものが、学術誌のレベルで論文の査読に耐えられるかどうかという話、我々はするわけですけども、そういう段階でまた別次元の方々がたくさんいらっしゃるんで、そういう方々と連携して、その地域文化を学んでいこうっていうそういう意図だと思うので、郷土史家と書いた方がいいのか、郷土を学ぶ研究者の方々と書いた方がいいのかとか、そういう感じだと思うんですけど

(教育長) あるいは郷土史愛好家。実際にレベル的にね

(事務局)「郷土史家」と言ってしまうと何かどうしても偏り過ぎているきらいはあるんで、あまり表現としては使わない。

(委員) 地方史研究者とか地域研究者とか。

(教育長) 加えて 52 ページの③ですけど、施策で「伝統行事の記録の作成と継承する人材育成」とあって、伝統行事って言うてるんですけど下の書きぶりを見ると伝統芸能が出てきたり、伝統行事や伝統芸能という言葉が繰り返し使われているので、そこはどういうふうに仕分けするのをもっと検討した方がいいのかなと思う。

(委員) 年中行事の方がいいかもしれませんね。

(委員) よろしいですか。43 ページの「家庭での教育力の向上」のところで、何かふわっとした感じがするなと思いました。これって、健診のことなのかな相談会のことなのかなとか思いながら読んではいたんですけども、具体的に何がやりたいのかはちょっとわからないのかなと思いました。今、美里町どんどん子供が少なくなって行って、その入園する子どもたちもいなくなってきて、その子供たちをどうやってこれから美里町に子どもを増やしていくとか、そういうことを考えたときにもうちょっと具体的に打ち出していくものとかがあるといいかなと思いました。支援センターとかと協力していくとか、今キーワードはもちろん入ってるんですけども、これで子どもが増えるのかなとか家庭での教育って向上するのかなって思うところあったので、もうちょっと検討が必要なかなと思いました。

(教育長) 確かに家庭教育の部分って取り組みが少ないんですよ。子どもを増やすのは私どもの仕事じゃないかもしれないですけども、子どもに対する教育の充実のため家庭教育自体は大事なので、そこはおっしゃるように意味ある施策は入れていく必要があるかなと思うんですよ。

(委員長) 時間も残り少なくなってまいりましたので、第 4 章のところで他のご意見等ございませんでしょうか。たくさんご意見いただきましたことですので、そのあたりで修正していただいて。よろしいでしょうか。次にでは進みたいと思います。「第 5 章計画の推進のために」2つの指標についてというところ、事務局お願いいたします。

(2) 第 5 章 計画の推進のために (事務局説明)

(委員長) ありがとうございます。委員の皆様方ご意見ご質問等ございませんでしょうか。

(委員) 1 個だけお願いします。今ご説明を聞いてすごく納得した部分もあるんですが、その指標がその事業評価なのか、この施策の評価なのかっていうところで、例えばこども教育課さんと施策の 5 までを評価するんだためにこういう指標持ってこられたという話だったんですが、例えば指標を評価するためのものなのか、出てきたその指標が良くなれば、今ここに掲げている体系の施策が良かったっていう評価にしたいっていうことなのか。そのあたりがちょっと見えなかったことが 1 つで、お話を聞いていてそのパーセンテージということで数値を上げたいっていうことがとてもよくわかったので、目標値が数値的に

下がっている目標値はちょっと見栄え的にどうなのかなって感じがとってもしました。以上です。

(委員長) 今のご質問に対して事務局からは、何かありますか。

(事務局) ※指標を設定した意図について説明

(教育長) なかなか分からないですよ。具体的に施策それぞれの評価反省は、毎年教育委員会の点検評価で実施していて、それが5年間積み重なっていくわけなんですけど、ここに挙げている指標というのは、もう少し大づかみなものというふうに考えていただいた方がいいのかなと思うんですが、例えば28、29ページにあるような大きな基本理念であったり大きな基本目標であったり、そういうものをどの程度総合的に達成できているんだらうかというのを見る一つの指標で、助けのためにやっているものっていうふうに理解していただいた方がいいのかなと思います。施策それぞれについては点検評価でもっと細かく行っていくといいかなと思っています。我々もいろいろ検討したんですが、しっかりとエビデンスを取ることがなかなか難しいもの多くて、多分これくらいしか実際にはエビデンスとしてはとれないのかなというところで収めたっていう感じです。だから「もっとこのようなものがよいのでは」というのがあればぜひご提案いただいたらありがたいなと思います。

(委員) 目標値が見栄え的に下がっていて、減るのがすごく違和感があります。

(委員) 現状維持とかそういうのが言葉では示せないか。

(教育長) 実際のところは若干減ってますけどほぼ現状維持で数字を均したっていう感じです。増えればなお良いんですけど、なかなか難しい。

(委員) 数字ってすごいキャッチーなので。

(委員) 目標値の数値に端数があるので、目標値は整数でよいのでは。

(教育長) おっしゃる通りですが、総合計画に記載された数値なので直しようがない。

(委員) 56ページで(児童生徒保護者)となっているが、何か意図はあるのか。

(事務局) 失礼しました。「感じる人」っていうのが抜けて、その「人」は誰を指すのかを括弧表記で示す予定だったんですが。

(委員) 例えば感じる人の割合にして、その下に※で対象は児童生徒保護者と表記した方がいいのかな。

(事務局) そのように修正します。

(委員) あと58ページで、地域文化の振興では目標値としての説明がないので、やはり統一された表記の方がいいのかなと思います。

(委員) すみません。57ページの項目3つ目「公民館や総合型地域スポーツクラブで行うスポーツ事業に参加者人数の合計」というところと、一番下の○3つ目の「公民館」というところで、これを見ると、公民館や総合型地域スポーツクラブで行うこの11,307人というのはスポーツに参加した人数と思うんですけども、説明を見ると「公民館」としか記載がなく「総合型地域スポーツクラブ」もだいたい貢献していると思うんですけど、省略

されているので。

(事務局) 大変失礼しました。修正いたします。

(教育長) 一番貢献しているところですので。

(委員) よろしくお願ひします。

(教育長) 指標の項目のところ「参加した人数の合計」と書いてあるのですが、これは「参加した延べ人数」と言った方がいいと思うんですね。あと 58 ページの「地域文化の振興」のところも「機会を持った延べ人数」なのかなと思います。

(委員) すみません 53 ページですが、子ども教育の充実の成果指標のところ「前年度より学力を伸ばした児童生徒の割合」で、ふくしま学調小4から中2とあるのですが、小4は前回受けてないので、小5から中3ではないか。

(事務局) 実際にはそうなんですが、ふくしま学調の対象学年を載せた方がいいのではというところがあって、それをどう表記するかなというところで、まさに小学4年生も次年度に繋がるわけで受けていて、そのころも含めてどう表記するのがいいかというところちょっと悩んだところではございました。

(教育長) 結局前年度の結果しか出てないわけなんで、表記の仕方を検討する必要があります。今、委員おっしゃったように5年から中3が前年度からどのくらい伸びたかということになる。そこは少し表記変えた方がいいですよ。

(事務局) 表記内容を検討します。ありがとうございます。

(委員長) 他にご意見ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。では、(3) その他は事務局何かありますか。

(事務局) その他はございません。

(委員長) では、以上で本日の協議事項は全て終了しましたが、委員の皆様から全体を通してまたそれ以外の件についても、何か質問やご意見はございませんでしょうか。(意見なし) それでは以上をもちまして本日の協議は全て終了いたしましたので、進行を事務局へお返しいたします。皆様のご協力によりスムーズに協議を進めることができました。誠にありがとうございました。

4 その他

(1) 今後のスケジュールについて

- ・ 1月上旬：庁議、議会への説明
- ・ 1月中旬～2月中旬：パブリックコメント実施
- ・ 2月9日、10日、12日(予定)：住民説明会実施(3地域)
- ・ 2月中旬：第5回策定委員会
- ・ 3月上旬：議会3月会議議案提出

上記について、事務局より説明

(2) その他
特になし

6 閉会

以上、開催記録として報告します。